

環境報告書2004発行に際して

近年、季節外れの記録的な暑さといった報道に接することが多くなってきたように思います。人類の活動によると言われている地球温暖化の影響であるのであれば大変気懸かりであり、企業人として環境問題取り組みへの責務を痛感しています。

日立電線は、情報とエネルギーの世界で豊かなネットワーク社会づくりに貢献することを使命と位置付けて、電線ケーブル、銅管や電子材料などの製品を生産しています。このことを環境面からみるとエネルギーの使用量が多く、また銅やプラスチック類など原材料の使用量が多いという事業特性があり、これまでエネルギー使用効率向上のための改善や廃棄物のリサイクル拡大に継続して取り組んできました。地道な活動ではありますが環境改善に寄与してきたと実感しております。

2003年度の環境保護活動を振り返ってみますと、廃棄物リサイクル拡大により最終処分量を削減出来たことや、トルエンをはじめ化学物質の排出量を低減出来たことなど成果を着実に上げる事が出来たと感じております。一方、製品に含有される化学物質の管理が大変に重要な事項になってきました。お客様の要望にお応えし規制にも応えられるよう原材料を納入して戴いている取引先様から工場での生産工程を経てお客様にお使い戴くまで、化学物質管理を厳重に行い有害物質を含まない製品を提供する総合管理が企業の義務である時代になったと捉えています。以上のことから、2004年度は、化学物質管理について一層のレベルアップをはかることを重点に、これまでの活動も更に発展推進し地球環境保護に貢献することを方針に致しました。この方針を推進・実行することが私に課せられた責任と考えております。

ここに2003年度の活動内容をまとめた環境報告書2004を発行いたします。
ご高覧戴き、皆様方よりご意見・ご提案を賜れば幸いです。



執行役社長
佐藤 教郎